

アンケート集計

【意見・感想】

- ・1施設に1人のコーディネーターではなかなか活動拡大は難しいのが現実と感じた。
- ・他施設の取り組みについてなるほどと思うことがあった。
- ・小さなとっかかりから始めていこうと思います。
- ・コーディネーターでありながら、仕事に生かされていないことに気付きました。陽性者に対して何もしていません（本人の意識が無い人に対して）。掘り起こしが必要と感じた。
- ・肝臓専門医が常勤でない中、コーディネーターとしての取り組みにはご苦労があるかと思いますが、活動内容に工夫があり、参考になりました。
- ・地域との連携はすごいと思います。
- ・肝疾患患者と肝臓専門医との結びつきの工夫が素晴らしいと思います。
- ・とても分かり易いお話でした。若い方が途中で治療をやめてしまうのが問題だと思いました。できるだけ受診してもらえようようにしていくのが今後の課題だと思います。
- ・分かり易かったです。どうやってモチベーション維持されているのかわかりました。
- ・分かり易い講演でした。ありがとうございました。
- ・参考にしたいと思います。
- ・地域の習慣（飲酒や味付けが濃い）があることを忘れず、まずは生活習慣を見直し、コメディカルと連携しながら、肝炎ウイルスに関与することで、掘り起こしがしやすくなるのかと勉強になりました。
- ・実際の活動内容が聞けて、また、指導料など知らなかったことを知ることができて良かったです。
- ・今後、生活習慣やアルコールの方々のフォローをどうするか考えていく必要があると強く思いました。
- ・掘り起こしについて、地域の病院との連携について、今聞きたいことを聞いたのでとても参考になった。

全体討論会について（課題や今後やっていきたいこと）

- ・拠点病院：
 - 病棟コーディネーターの役割の明確化
 - 県内の連携
 - 肝炎検査したら肝炎シールとともに文書がでてくるシステムを作る。
 - 肝炎、薬剤について病棟での学習会。スタッフの知識を深めたい。
 - 個別に沿った説明。
- ・専門病院：
 - 医師と連携をとり肝炎患者の指導。

他科の医師との連携

病院全体の問題

肝臓病教室の開催・地域での出前講座などの勉強会

地域の開業医の先生への声掛け

石仏ネットと検診の統合

肝炎コーディネーターを中心とした肝炎チームを作る（一人の活動では限界がある）

医師からの依頼などがあればもっと活動できると思う。

・一般病院・クリニック

外来スタッフとコミュニケーションをとり、掘り起こしに協力してもらい方向でやっていきたい。

「ウイルス疾患指導管理料」の算定をもとに、肝炎コーディネーターのアピール。

肝疾患について知識をもったスタッフを増やす。

GF/CF 検査を行う人へウイルス検査を勧める。

・保健師

特になし